

VI 令和4年度「文化芸術による子供育成総合事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	音楽	種目	オーケストラ等
----	----	----	---------

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分のみ
------	-------

複数申請の有無(該当する方を選択してください。)

複数申請の有無	無
---------	---

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

その他を選択した場合	
------------	--

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	こうえきざいだんほうじんせんだいふいるはーもにーかんげんがくだん 公益財団法人仙台フィルハーモニー管弦楽団		
代表者職・氏名	理事長 高橋 宏明		
制作団体所在地	〒 980-0012		
	宮城県仙台市青葉区錦町1丁目3-9		
電話番号	022-225-3934	FAX番号	022-225-4238
ふりがな 公演団体名	せんだいふいるはーもにーかんげんがくだん 仙台フィルハーモニー管弦楽団		
代表者職・氏名	理事長 高橋 宏明		
公演団体所在地	〒 980-0012		
	宮城県仙台市青葉区錦町1丁目3-9		
制作団体 設立年月	平成22年9月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	[理事]20名 [評議員]18名 [監事] 2名 [事務局職員]15名	[団体構成員] 71名 [加入条件] 採用オーディションによる	
事務体制の担当	他の業務と兼任	本事業担当者名	事業部 演奏事業グループ 伊東 広大
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	総務部 次長 曳地 淳

制作団体沿革	仙台フィルハーモニー管弦楽団 仙台フィルは、1973年に市民オーケストラ「宮城フィルハーモニー管弦楽団」として誕生。翌年に初の定期演奏会を開催して本格的に活動を開始した。1983年4月から芥川也寸志が音楽総監督として現在の礎を築き、外山雄三音楽監督、パスカル・ヴェロ常任指揮者のもとアンサンブルに磨きをかけてきた。2018年度に飯守泰次郎が常任指揮者に就任、ドイツ音楽を中心としたレパートリーによりさらに音楽的深化を推し進めている。 2011年3月11日に東北地方を襲った東日本大震災による影響で、仙台フィルは数ヶ月にわたり演奏活動を中止せざるを得ない状況となったが、「音楽の力による復興センター・東北」と協力し音楽を被災者のもとに届けながら絆をつなぐ活動を行い2011年度エクソンモービル音楽賞洋楽部門本賞と渡邊暁雄音楽基金特別支援を受賞した。 本拠地、日立システムズホール仙台・コンサートホールでの「定期演奏会」は2016年に300回を数え意欲的な取り組みが高く評価されているほか、2001年から開催されている仙台国際音楽コンクールではホストオーケストラとして出演し、2006年秋からは毎年「仙台クラシックフェスティバル(せんくら)」でも広く市民に親しまれるなど、「杜の都」の音楽文化における中心的役割を担っている。 【仙台フィル公式ホームページ】http://www.sendaiphil.jp/			
学校等における公演実績	・平成31年度〈仙台市主催公演〉および〈地元銀行主催公演〉全16公演 ・令和元年度〈文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業〉全13公演 ・令和2年度〈文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業〉全11公演 ・令和3年度〈文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業〉全10校 ・令和3年度〈子供のための文化芸術鑑賞・体験支援事業〉全11校			
特別支援学校における公演実績	▼平成28年度〈文化芸術による子供の育成事業—巡回公演事業〉 福井県・南越特別支援学校 ▼令和元年度〈文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業〉 宮城県・仙台市鶴谷特別支援学校 ▼令和元年度〈子供のための文化芸術体験機会の創出事業〉 宮城県・宮城教育大学特別支援学校 ▼令和2年度〈文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業〉 茨城県・茨城県立結城特別支援学校			
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有	
		申請する演目のDVDまたはWEB公開資料	無	
		※公開資料有の場合URL		
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:	
			PW:	
	Aの提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料	有	
		※公開資料有の場合URL	https://youtu.be/HKdB3ScAY5Q	
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:	
			PW:	

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 仙台フィルハーモニー管弦楽団】

対象	○	小学生(低学年)	○	中学生		
	○	小学生(中学年)				
	○	小学生(高学年)				
企画名	『いまここにしかない音楽』 仙台フィルハーモニー管弦楽団 オーケストラコンサート					
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	① グリンカ:歌劇「ルスランとリュドミラ」序曲 ② 【楽器紹介】「オーケストラの楽器たち」～スーザ:行進曲「星条旗よ永遠なれ」 ③ 【指揮体験】「君も先生もマエストロ」 休憩(15分) ④ ベートーヴェン:交響曲第5番「運命」ハ短調作品67より第1楽章(楽曲解剖つき) ⑤ 【合唱共演】「オーケストラと一緒に歌おう！」 A:ピリブ、B:翼をください、C:明日という日が、D:花は咲く ※選択 ⑥ ロジャース:「サウンド・オブ・ミュージック」セレクション ⑦ アンコール)開催校校歌 ※公演の記念に、別途⑦を収録したCD(カラオケ)をプレゼント！ 【本公演終了後】音楽系クラブとの交流会を実施！(採択決定後、希望の有無を調査します) 吹奏楽部・管弦楽部・金管バンド部等の音楽クラブとの「交流会」を実施します。指揮者と楽団員(数名)が、皆さんの活動する部屋にお邪魔し、疑問や質問にお答えします！もしかしたら..サプライズで演奏が飛び出してくるかも！？最後はみんな記念撮影&サインも！ (時間は終演後1時間程度を予定。細かい内容は、学校の先生とご相談させていただきます) (公演時間 90分)					
著作権		制作団体が所有	○	制作団体以外が所有する事項が含まれる	取得予定	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合)許諾状況
演目概要	『いま、ここにしかない音楽』 生の音楽は、一期一会。リズム、ハーモニー、テンポ、全てが、一期一会「いま、ここにしかない音楽」であると考えています。私たちはその信念を常に持ち続け、子供たちにオーケストラがもつパワーと、美しさ、激しさ、優しさ、様々な表情を伝えていきたいと考えています。 オーケストラに興味を持ってもらうための工夫も欠かせません。仙台フィルだからこその進行、演出、クオリティをぜひ皆さんに体験していただき、子供たちに「一生思い出に残る公演」を目指して参ります。					
演目選択理由	チューニングを終えたオーケストラ、どんな音が出てくるのかとワクワクしている子供たちにまず聞いていただくのは、グリンカ:歌劇「ルスランとリュドミラ」序曲。フル・オーケストラとしての響きを味わえるほか、弦楽器奏者の細かい指や弓の技巧的な動きを視覚的にも体感することが出来ます。「抒情的な旋律」やオーケストラ全員で奏でる「疾走感」が楽しめる作品です。 続いては、【楽器紹介】「オーケストラの楽器たち」。オーケストラを4つのグループ(弦楽器、木管楽器、金管楽器、打楽器)に分けて、音色や発音の特徴、演奏方法をひとつずつご紹介します。楽器の特徴を生かしたパフォーマンスも飛び出します。最後はドラムマーチに乗って、スーザ:行進曲「星条旗よ永遠なれ」を全員で演奏します。 【指揮体験】「君も先生もマエストロ」では、児童・生徒から2名、そして先生1名に、オーケストラの指揮者を体験していただきます。指揮者の役割について、会場全体で学んでいただくことが出来ます。そして指揮棒は記念にプレゼント！後半は、ベートーヴェン:交響曲第5番「運命」第1楽章からスタート。この曲は、誰もが一度は必ず耳にしたことのある、音楽の教科書にも必ず掲載されているプログラムです。運命のモチーフ(動機)とも呼ばれる「ダダダダーン」の音型が、のちの作曲家に与えた影響の大きさはとても大きく、この「運命」の作品の中でも、音や形を変えて何度も何度も登場します。演奏に先立ち、実際にこの「運命のモチーフ」がどのように登場するのか、またこのモチーフがのちの作曲家に与えた影響などについて、実演を交えながら解説したのち、1楽章を演奏します。 【合唱共演】「オーケストラと一緒に歌おう！」では、オーケストラを伴奏にして、児童・生徒の皆さんと共演をするプログラムです。楽団側から提示させていただく4曲の中から、学校側で1曲選んでいただき、公演での共演に向けて練習をしていただきます。 プログラム最後に演奏するのは、ロジャース:「サウンド・オブ・ミュージック」セレクション。「私のお気に入り」「ドレミの歌」「エーデルワイス」「すべての山へ登れ」など、同ミュージカルで使用されている音楽をメドレーで繋げたプログラムです。近年では、授業で取り上げられる機会もあり、世代を超えて愛される作品の一つです。					
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	③【指揮体験】「君も先生もマエストロ」 オーケストラの指揮台に立って、指揮者を体験していただきます。指揮者から指揮の仕方のレクチャーを受けた後に、実際に指揮を振っていただきます。なお、体験は、児童・生徒の皆さんから2名、そしてサプライズで学校の先生1名にも体験していただきます。 ⑤【合唱共演】「オーケストラと一緒に歌おう」 演奏プログラムA～Dの中から1曲、学校側で選択していただき、オーケストラ伴奏で合唱を共演するプログラムです。普段はピアノ伴奏で歌っている曲も、フル・オーケストラの音色を伴奏にして歌うことで、さらに豪華になります。 ⑦【アンコール】「開催校校歌」 世界にたった1つだけの、皆さんの学校の校歌を、フル・オーケストラ版にアレンジし、演奏します。ぜひ一緒に歌いましょう。					
出演者	指揮:佐々木 新平 司会:我妻 雅崇 管弦楽:仙台フィルハーモニー管弦楽団(2管10型)【編成】10-8-6-6-4/3-2-2/4-3-3-1/Timp, 3Per, Hp/					
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出演者: 61 名 スタッフ: 7 名 合 計: 68 名		機材等 運搬方法		積載量: 4 t 車 長: 9 m 台 数: 2 台	

【公演団体名 仙台フィルハーモニー管弦楽団】

実施に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要時間 (タイムスケジュール)の 目安	前日仕込み	無	会場設営の所要時間		90分	程度
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	午前9時	9時～10時30分	13時30分～15時	15分	15時～16時	16時
	※上記はクール初日の学校のスケジュール例であり、加えて11時～12時30分までリハーサルを実施します。					
児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ		全校生徒対象			
	本公演		全校生徒対象(～800名程度) ※体育館のキャパシティによる			
ワークショップ 実施形態及び内容	[開催時間]各学校授業の時間割に則り「1時間分」を基本とします。 小学校＝45分間、中学校＝50分間(短縮授業等、時間は柔軟に対応いたします) [派遣人数]4名(仙台フィル楽団員3名＋ピアニスト1名) [借用備品]ピアノ(グランド・アップライトなど、種類は問いません)					
ワークショップ 実施形態の意図	①楽器紹介 オーケストラは4つのグループに分かれることを説明(弦楽器、木管楽器、金管楽器、打楽器)、そのうえで、音が出る仕組みについて身近なものを使って説明します。 ②ミニ・コンサート 弦楽器、管楽器等のソロの作品、そして全員でのアンサンブルの作品を演奏します。 ③質疑応答 楽器紹介やミニ・コンサートを通して、皆さんの質問、疑問にお答えする時間を設けます。					
特別支援学校での 実施における工夫点	特別支援学校での実施要望について、プログラムの基本的な軸(コンセプト)は変えないものの、内容については先生方からお話を伺い、子供たちの能力に応じた内容および時間に変更いたします。					
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

リンク先	No.2	【公演団体名 仙台フィルハーモニー管弦楽団 】
出演者紹介		
	指揮：佐々木 新平 秋田県出身。東京学芸大学芸術文化課程音楽専攻を経て桐朋学園大学にて指揮を専攻。ヨーロッパ各地の国際指揮マスタークラスに選抜され、J. パヌラ、H. アンドレシュク、M. ストリンガーら巨匠たちの薫陶を受ける。2013 年よりミュンヘンへ留学しヨーロッパ各地でさらなる研鑽を積んだ。2012 年の第 9 回、2017 年の第 10 回フィデルベルク国際指揮者コンクールにおいてディプロマ、2015 年ブザンソン国際指揮者コンクールにおいて本選最終の 8 人に選出。これまで 仙台フィルハーモニー 管弦楽団 をはじめ 国内主要楽団に客演。現在オーケストラを中心に、吹奏楽、合唱、オペラ、バレエ等あらゆるシーンで才能を発揮。また 2021 年 1 月よりヤマハ吹奏楽団常任指揮者に就任し、吹奏楽の新たな境地を切り開く俊英として期待が寄せられている。その他、NHK 公開収録コンサートへの出演、ポップカルチャー にメディア における 多彩 な オーケストラレコーディングや公式コンサートの指揮、映画では出演者への指揮指導や劇中音楽のスタジオ収録指揮を務めるなど多方面に活動の幅を広げている。しなやかな足取りで、ひたむきに遥かなる高みに向かう若き指揮者。 ウェブサイト https://shimpeisasaki.bsheet.jp 司会：我妻 雅崇 1973年仙台市生まれ。学生時代より合唱やミュージカルに参加。2001年仙台フィルハーモニー管弦楽団インスペクターに就任。2021年4月より事業部長に就任する。2011年の東日本大震災後からは、「頑張ろう日本！スーパーオーケストラ」、「レクイエム・プロジェクト」インスペクター兼ステージマネージャー、Music from PaToNaステージマネージャーと多岐にわたる活動が続けている。2015年より仙台フィルの学校公演における司会者も勤め、オーケストラを知り尽くしたテンポ感ある、歯切れのいい司会に好評を得ている。 管弦楽：仙台フィルハーモニー管弦楽団 仙台フィルは、1973年に「宮城フィルハーモニー管弦楽団」として誕生。1983年4月から芥川也 寸志が音楽総監督として現在の礎を築き、外山雄三音楽監督、パスカル・ヴェロ常任指揮者のもとアンサンブルに磨きをかけてきた。2018年度に飯守泰次郎が常任指揮者に就任、さらに音楽的深化を推し進めている。2011年3月11日に東北地方を襲った東日本大震災による影響で、仙台フィルは数ヶ月にわたり演奏活動を中止せざるを得ない状況となったが、「音楽の力による復興センター・東北」と協力し音楽を被災者のもとに届けながら絆をつなぐ活動を行った。現在、「定期演奏会」のほか、「仙台国際音楽コンクール」「仙台クラシックフェスティバル(せんくら)」でも広く市民に親しまれ、「杜の都」の音楽文化における中心的役割を担っている。	



仙台フィルハーモニー管弦楽団

SENDAI PHILHARMONIC ORCHESTRA

会長 郡 和子(仙台市長)
顧問 問 村井 嘉浩(宮城県知事)
創立理事長 故藤崎 三郎助(6代)

常任指揮者
レジデント・コンダクター
指揮者
桂冠指揮者

飯守 泰次郎 コンサートマスター 神谷 未穂
高関 健 西本 幸弘
角田 鋼亮
バスカル・ヴェロ

1st Violin

○ 宮崎 博子
伊部 祥子
熊谷 洋あずさ
小谷 山奈津江
坂本 内崇子
竹内 トリゲス
ヘンリ・タル
松山 古美
三塚 美
柳澤 直

2nd Violin

○ 山本 史子
小川 紀武
大友 靖彦
岡村 映直
木越 まどか
小池 亜紀
佐々 朋
近々 達
長谷川 上
村 康俊

Viola

◎ 井野邊 大 輔
○ 飯野 和 英
青木 昌 恵
梅田 昌 子
百々 暁 子
寺澤 正 晴
長谷川 基
御供 和 江

Cello

◎ 三宅 進
○ 吉岡 広
北村 健
高橋 子
田澤 緑
八島 純

Double Bass

◎ 助川 龍
○ 名和 俊
河野 三
黒江 幸
田中 昭
田 浩
 洸
 太郎

Flute

○ 戸田 敦
○ 芦澤 男
宮寄 美
山元 生

Oboe

○ 西沢 澄 博
木立 至

Clarinet

○ ダビッド・ヤジンスキー
下路 詞 子
鈴木 雄 大

Bassoon

○ 水野 一 英
海野 隆 次
入交 滋

Horn

大野 晃 平
須田 一 之
中村 隆 司

Trumpet

○ 浦田 誠 真
戸田 博 美
森岡 正 典

Trombone

松崎 泰 賢
矢崎 雅 巳
山田 守

Tuba

○ ピーター・リンク

Timpani

○ 竹内 将 也

Percussion

佐々木 祥
前田 秀 明

Chief Inspector

吉田 学 史

Inspector

名和 俊
下路 詞 子

Chief Librarian

水野 広 明

Chief Stage Manager

大久保 斉 象

◎ 印 ソロ首席
○ 印 首席
□ 印 副首席



公益財団法人仙台フィルハーモニー管弦楽団

〒980-0012 宮城県仙台市青葉区錦町1丁目3-9

E-Mail : info@sendaiphil.jp URL : http://www.sendaiphil.jp



仙台フィルハーモニー管弦楽団 オーケストラコンサート

いま、ここにしかない音楽

指揮●佐々木新平 司会●我妻雅崇 管弦楽●仙台フィルハーモニー管弦楽団

- ① グリンカ：歌劇「ルスランとリュドミラ」序曲
- ②【楽器紹介】「オーケストラの楽器たち」～スーザ：行進曲「星条旗よ永遠なれ」
- ③【指揮体験】「君も先生もマエストロ」
- ④ ベートーヴェン：交響曲第5番「運命」ハ短調作品67より第1楽章（解説あり）
- ⑤【合唱共演】「オーケストラと一緒に歌おう！」
A：ビリーブ、B：翼をください、C：明日という日が、D：花は咲く ※選択
- ⑥ ロジャース：「サウンド・オブ・ミュージック」セレクション
- ⑦ アンコール）開催校校歌

（90分プログラム）

- 約60名のフル・オーケストラが皆さんの学校の体育館にお邪魔します！
- オーケストラの「指揮体験」一生の思い出になること間違いなし！
- 音楽の授業で取り扱う、ベートーヴェン「運命」本物のオーケストラで演奏！
- オーケストラを伴奏にして、合唱共演を楽しめる！
- 「サウンド・オブ・ミュージック」は、親しみのあるメロディが満載！
- アンコールは、皆さんの学校の「校歌」をオケ版に特別アレンジして演奏！
⇒校歌の音源とフル・スコアは、公演終了後にプレゼントします！
- 公演終了後、吹奏楽部、オケ部など音楽系クラブの皆さんと「交流会」！



【令和4年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	A2	分野	音楽	種目	オーケストラ等	ブロック	A	区分	A区分
公演団体名	仙台フィルハーモニー管弦楽団				制作団体名	公益財団法人 仙台フィルハーモニー管弦楽団			

① 会場条件等についての確認

項目	必要条件等							応相談	
控室について	必要数 *	5室	条件		【小部屋】3部屋(指揮者、コンマス、司会者) 【大部屋】2部屋(男性楽団員、女性楽団員)			可	
搬入について	来校する車両の大きさと台数 *			楽器運搬車 4tワイド車 トラック	2台	楽団員用 大型バス	3台	不可	
	上記車両について「応相談可」の場合、内容詳細								
	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			【楽器運搬車】 2.5m(車幅)×9m(長さ)×3.6m(高さ) 出演希望調査「機材等運搬方法」欄を参照				不可	
	搬入車両の横づけの可否 *			要				不可	
	横づけができない場合の搬入可能距離 *			不可				不可	
	搬入経路の最低条件			・楽器運搬車(4tワイド車)が通れる通路であること 一車幅、3t規制、トラック進入禁止、他の規制が無いこと をご確認ください。なお、トラックが学校敷地内を通る ルートは「アスファルト」が好ましいです。				不可	
	理由			雨天時にグラウンドや芝生面を走行すると 土砂でスタックするため					
	設置階の制限 *			エレベーターの設置等があれば、2階以上も可				可	
	搬入間口について 単位:メートル	幅	2m以上		高さ	2m以上(が好ましい)		不可	
WSIについて	参加可能人数	人数制限は無し						可	
	学年の指定の有無 *	なし	指定学年 *				—		
	所要時間の目安 単位:分	小学校=45分、中学校=50分 ※学校の事情による時間の長短は相談可						可	
本公演について	会場設営・本公演・ メインプログラムの所要時間		※「出演希望調査」内「会場設営の所要時間 (タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。						
	鑑賞可能人数		人数制限は無し。ただし、オーケストラが使用する範囲以外で 体育館に入る人数をご検討ください。						可
	舞台設置場所 *		フロア						可
	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル	幅	18m	奥行	10m	高さ	指定なし	不可	
	体育館の舞台を使用する 場合の条件	舞台袖スペースの確保 *			要				可
		舞台袖スペースの条件 *			出演者待機スペースとして使用				—
		緞帳 *	要		バトン *	不要			可
	遮光(暗幕等)の可否 *		要	理由	演奏スペースに光が当たる場合は 閉めさせていただきます。				可
	ピアノの調律 移動の可否 (調律費・移動費は経費 対象外です)	指定位置への ピアノの移動 *		不要	オーケストラ設営スペースにある場合 ご移動をお願いすることがあります。				可
		ピアノの事前調律 *		不要				—	
	フロアを使用する場合 の 条件	バスケットゴールの 設置状況 *		格納されていれば可				—	
	公演に必要な電源容量		0	※主幹電源の必要容量				—	
	その他特記事項							応相談	
・大型バス3台および楽器運搬車の、留め置きスペースの確保							可		

会場図面(表記単位:メートル)

搬入間口について	幅	2m以上	高さ	2m以上(が好ましい)
搬入車両の横づけの可否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		不可		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

